

祖父母向け講座人気 「孫育て」高まる関心

産経新聞

2010年6月23日(水)08:00



(産経新聞)

祖父母の力を子育てに活用しようと、今と昔の子育ての違いなどを祖父母世代に伝える講座が各地で開かれている。子育てにかかわる祖父の資格講座のほか、育児のノウハウをまとめたガイドブックなども完売するほどの人気だ。孫育てへの関心は着実に高まっている。(森本昌彦)

◆ 今と昔の違い説明

「昔は生後2カ月ぐらいから果汁を飲ませていましたが、今は離乳食は5カ月の半ばから始めることになっています」。東京都台東区の日本助産師会館の一室に講師の助産師の声が響いた。

社団法人日本助産師会(台東区)が月に1回開いている「楽しい子育て・孫育て講座」の一幕だ。子育てに祖父母の力を生かしてもらおうと、平成19年1月から行われている。

専務理事の岡本喜代子さんは「昔と今のギャップを知っておけば戸惑いが減り、父母、祖父母の双方にメリットがあります」と話す。講座では、今と昔の子育て事情の違いや祖父母の役割などを学べるようになっている。

この日は、母乳育児や離乳食、タッチケア、絵本の選び方などについて助産師らがアドバイス。受講者の中には年配女性の姿もちらほら見られる。義娘と一緒に受講した60代の女性は「初めておばあちゃんになるので、昔と今の子育ての違いを学びたかった。ほかの参加者の方の話も聞くことができよかった」と話す。

孫育てへの関心が高まっていることで受講者も増えているといい、同会は全国の支部でも同様の講座を広げていく予定だ。

◆ 「ソフリエ」講座も

1人で子育てができる祖父を「ソフリエ」と名付け、資格認定講座の開催を自治体に提唱しているのはNPO法人エガリテ大手前(杉並区)。北九州市が今年2月に開催した「男2代の子育て講座」は、定員15人に対し30人が参加する盛況ぶりだった。

抱っこや寝かしつけ、沐浴(もくよく)など実技も交えた講座。「基本編」「日常編」などの4単位をすべて履修しなければ認定されない仕組みだ。

エガリテ大手前の代表、古久保俊嗣さんは「ソフリエを増やすことによって、親と子、孫の3世代の絆(きずな)を強めたい」と話す。孫育てでは過去に子育て経験のある祖母に負担がかかりやすいため、ソフリエ講座で男性を孫育てに引き込むことを目指しているという。

孫育てについてまとめたガイドブックも人気だ。日本助産師会が3月に約7千部発行した「おまごBOOK」は数カ月で在庫切れ。エガリテ大手前の「ソフリエハンドブック」も完売しており、孫育てへの関心の高さがうかがえる。

■ 祖父母からの相談 増加

電話による無料育児相談を行っている「森永乳業 エンゼル110番」でも近年、祖父母からの相談が目立っている。寄せられた相談のうち、祖父母からは平成15年は0.9%だったが、20年には2.1%と増加している。

21年1月～6月までに寄せられた相談の内容を分析したところ、発育・発達については3.4%、情緒については6.5%だった。祖父母からの相談にかぎると、発育・発達が13.8%、情緒が10.1%となり、全体と比べてこの2項目に祖父母の関心が集まっている傾向がうかがえる。